

科目名	人間工学				
授業形態	講義	学年	2		
開講時期	2022年度 後期	単位数	2		
担当教員	水野 康				
内容および計画	我々の生活は、様々な機械器具・道具、あるいは建築環境等によって支えられている。これらの器具・道具、および環境等は、デザイン上の見栄えだけでなく、人間の特性に応じた使いやすさ、さらには、安全性が担保されていることも極めて重要である。そのためには、人間の生理的・解剖学的・心理学的特性に基づいて設計あるいは改良する必要がある。本講義では、人間の形態や機能、生理心理反応の特性について理解し、人間が本来備えている能力に適したデザインについて学ぶ。さらに、人間の形態や生理心理反応の特性を考慮した、快適で使いやすく、安全な機械器具・道具、あるいは建築環境等のデザインの在り方について解説する。				
1	人間工学とは				
2	人間の形態				
3	人間の感覚（視覚、聴覚）				
4	人間の感覚（皮膚感覚、味覚）				
5	人間の生理反応の測定法（中枢神経機能）				
6	人間の生理反応の測定法（自律神経機能他）				
7	人間の心理反応の測定法				
8	建築環境と快適性（温熱）				
9	建築環境等と快適性（音・光）				
10	安全性とデザイン				
11	オフィスの人間工学				
12	睡眠と人間工学				
13	住居の人間工学				
14	特殊環境（宇宙など）と人間工学				
15	まとめ				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
教科書は使用しない。パワーポイントの資料を用いて講義を進め、当該資料の印刷版を配布する。					
参考書	1) 長町三生編 『快適科学』 海文堂 2) 真辺 春蔵、長町 三生編 『人間工学概論』 朝倉書店 3) 菊池 安行 『おはなし人間工学』 日本規格協会 4) 小原二郎 『暮らしの中の人間工学』 実教出版				
成績評価					
	評価方法				割合(%)
	毎回の講義で実施するレスポンスペーパー等、平常点				30
	筆記試験				70

<b>学習到達目標</b>	人間の形態、動作、生理心理反応を理解し、人が快適で使いやすく、安全な道具や環境のデザインができる。
<b>先修条件</b>	
<b>実務経験</b>	実務経験あり：宇宙開発事業団（現、宇宙航空研究開発機構）の宇宙医学研究開発室に所属し、宇宙医学・人間工学の研究に従事した。睡眠環境の快適性に関する研究に従事した。
<b>その他</b>	必須・選択の別:選択